

大阪外環状線（新大阪～都島）鉄道建設事業に係る
環境影響評価

事後調査報告書

平成30年1月

大阪外環状鉄道株式会社

1. 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事業所の所在地

事業者の名称：大阪外環状鉄道株式会社

代表者の氏名：代表取締役社長 野本 康憲

主たる事業所の所在地：大阪府中央区今橋二丁目3番21号(藤浪ビル7階)

2. 対象事業の名称

大阪外環状線(新大阪～都島)鉄道建設事業

3. 対象事業の実施状況

事業計画路線の位置は下図に示すとおりです。



図 事業計画路線位置図

なお、東海道乗越工区の状況は、平成26年度9月から高架の基礎杭工事を行い、平成27年12月に完了、併せて高架橋躯体工事を平成27年6月から行っており、平成29年6月末をもって工事は完了しました。

調査地点b(P.5参照)については平成27年12月に基礎杭完了後2年間の調査期間を経過した為、今回で地下水調査を終了します。これにより全ての調査地点の地下水調査を終了します。

今回の調査までの工事工程表は、下記に示すとおりです。

工事の状況（平成27年7月～平成29年12月）

工事内容	平成27年度						平成28年度						平成29年度																	
	平成27年						平成28年						平成29年																	
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
東海道乗越工区																														
準備工																														
高架橋基礎杭																														
高架橋躯体																														
盛土工																														
橋りょう改築																														
残工事																														

※上記の表で実線が地下水モニタリング対象工種(基礎杭)の実施時期、破線は対象外の工種

4. 事後調査の方法

①事後調査の項目

事後調査の項目は事後調査計画書により、表-4.1 に示すとおりです。

表-4.1 事後調査の項目

区 分	環境項目	事後調査の項目
建設工事中	地下水	基礎工事に伴う地下水質

②調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法は事後調査計画書により、表-4.2 に示すとおりです。

表-4.2 建設工事中における調査地点、調査期間及び頻度、並びに調査方法

環境項目	事後調査の項目	内 容	
		調査事項	
地下水	基礎工事に伴う地下水質 (有機塩素系化合物6物質)	調査事項	・第2帯水層の地下水質
		調査地点	・b地点(跨線線路橋区間)
		調査期間及び頻度	・事前=1回 ・基礎杭打設工事中及び完了後2年間=4回/年
		報告時期	・原則として、調査の2ヵ月後
		調査方法	・「土壌・地下水汚染に係る調査・対策指針(平成11年1月、環境庁)」に準拠して測定
		環境保全目標	・工事の実施により地下水汚染が拡散することがないこと

5. 事後調査の結果及び検証

(1) 基礎工事に伴う地下水質

基礎杭打設工事に伴い地下水質を調査しました。調査結果は別紙-6-2(5頁)のとおりです。

工事中(基礎杭打設工事)の地下水質は、事前調査結果より全ての項目で定量下限値未満となっていることから、基礎杭打設工事は、所定の対策効果が確保され、周辺地下水に影響を及ぼしていないものと考えられます。

全ての項目で環境基準値を満足する調査結果となっています。

地下水質様式

基礎工事に伴う地下水質調査結果

調査日（事前）：平成23年 8月17日

調査日（事後）：平成29年 11月22日

調査地点：b

調査項目	調査結果 (mg/L)	事前の調査結果 (mg/L)	備 考
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	
1,2-ジクロロエチレン	<0.004	0.008	
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	
塩化ビニルモノマー	<0.0002	0.0044	

調査地点位置図

